

『T-Engine開発ベンチ』取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法でご使用いただきますようお願いいたします。

1 使用前の準備

『T-Engine開発ベンチ』は、次のボード類を対象とした治具セットです。

- ・T-Engine/ μ T-Engine開発キット、Teaboard/ARM920-MX1、T-Engine用拡張ボードなど
- また組み立て用の工具として、本製品のほかに次のものがが必要です。
- ・十字ドライバ、ラジオペンチ、4mmナット回し（M2用）

2 製品内容の確認

『T-Engine開発ベンチ/パーツ名称』（2ページ）をご覧ください。記載されているものがすべてそろっていることを確認してください。

なおパーツには今回は使用しないものもあります。拡張ボード等を増設した場合に使用しますので大切に保管してください。

3 T-Engine/ μ T-Engine開発キットの分解

CPUボード以外の各種ボードが標準で付属するT-Engine/ μ T-Engine開発キットでは、『T-Engine開発ベンチ』に取り付ける前に、一度分解して各ボードを切り放す必要があります。ボードに触れる場合は十分静電気対策を行ってください。

T-Engine/SH7727開発キットの例

- ① LCDボードの4角にあるネジを取り外します。
- ② LCDボードをデバッグボードの上に裏返しにして置きます。
※あらかじめデバッグボードの上に紙などを敷いておくとうれいでしょう。
※LCDボードとCPUボードはFPCケーブルで接続されていますので注意してください。
- ③ CPUボードの4角にあるロングナットを取り外します。
- ④ CPUボードとデバッグボードを切り放します。
- ⑤ デバッグボードの4角にあるネジとロングナットを取り外します。

取り外したネジやロングナットなどは大切に保管してください。

4 製品の組み立て

『T-Engine開発ベンチ』はCPUボード、LCDボード、デバッグボードや各種拡張ボードをスタックして収容するアクリルベースと、CPUボード、LCDボードが携帯しやすくなる携帯用カバーを含みます。以下のいずれか一方を選んで作業してください。

■アクリルベースに取り付ける

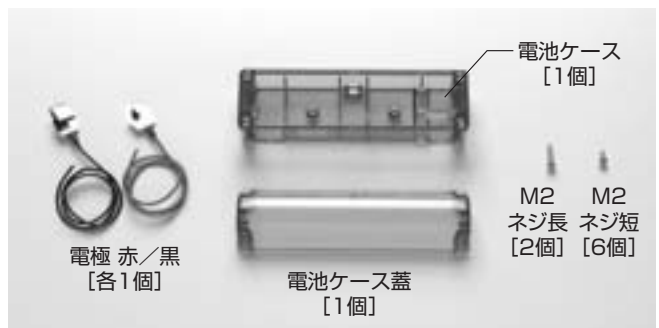
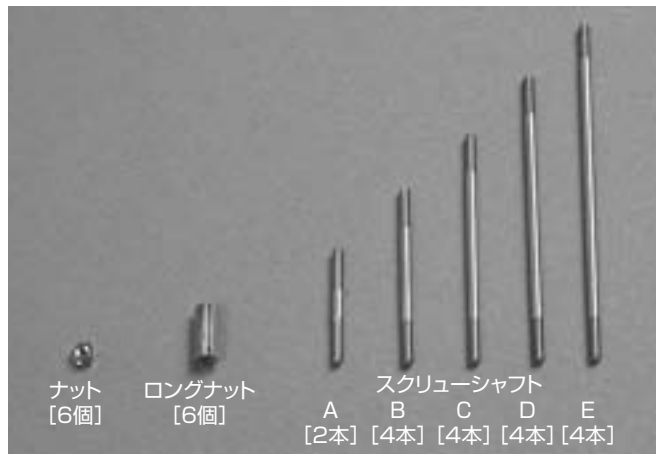
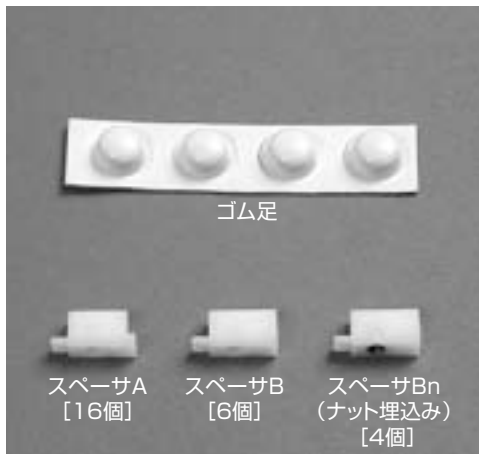
「組立手順1：アクリルベースに取り付ける」（3ページ）をご覧ください。デバッグボードや各種拡張ボード、CPUボード、LCDボードの順にアクリル台に取り付けます。なおフロントベゼル、サイドパネル、専用バッテリーキットはアクリルベースと併用して利用することもできます。

■携帯用カバーを取り付ける

「組立手順2：携帯用カバーを取り付ける」（4ページ）をご覧ください。CPUボード、LCDボードに携帯用カバーを取り付けます。

※ 拡張ボードの種類や数によって、スクリーシャフトやスペーサが不足する場合には、当社営業部までご相談ください。

T-Engine開発ベンチ／パーツ名称



組立手順1: アクリルベースに取り付ける

T-Engine/SH7727開発キット(CPUボード、LCDボード、デバッグボード)を例にアクリルベースへの取り付け方を説明します。

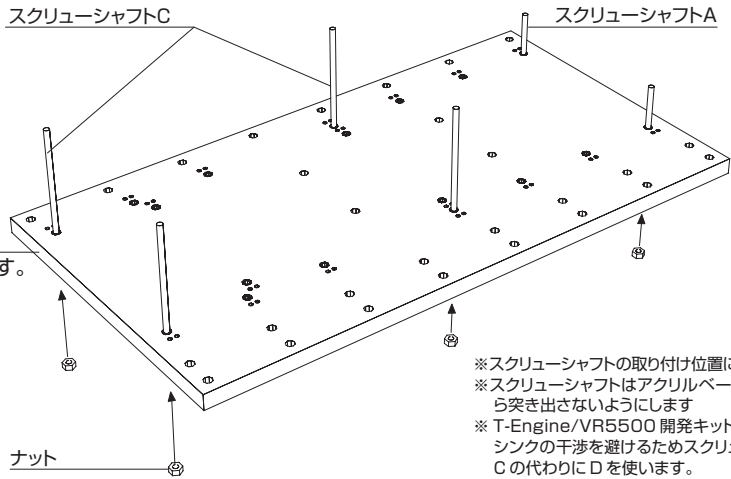
※ 取り付けるボードの種類や数により、スクリーシャフトの種類(長さ)や取り付け位置を調整してください。

1

アクリルベースの所定の位置にスクリーシャフトC / スクリューシャフトAをねじ込み、下面よりナットで固定する。

アクリルベース
※ナットの窪みがある方が下面です。

ナットの固定には4mm(M2用)のナット回しをご利用下さい。

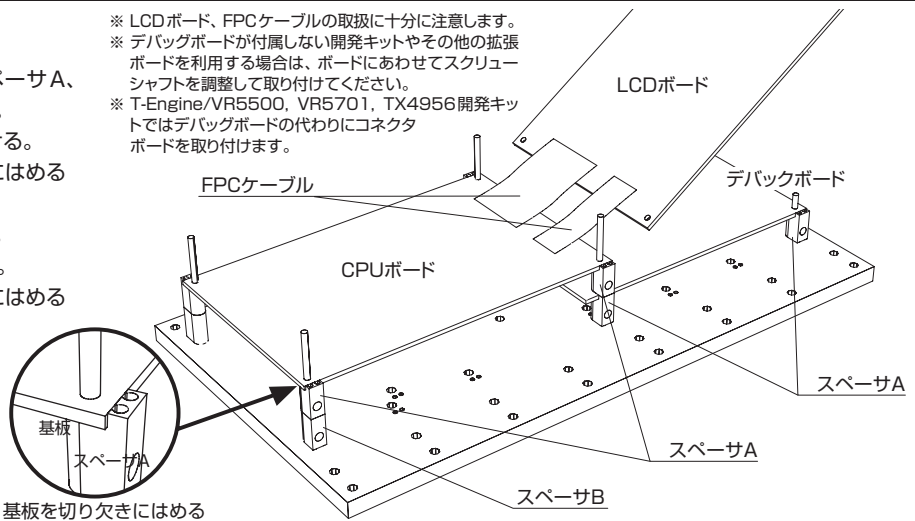


※スクリーシャフトの取り付け位置に注意します。
※スクリーシャフトはアクリルベースの下面から突き出さないようにします
※T-Engine/VR5500 開発キットではヒートシンクの干渉を避けるためスクリーシャフトCの代わりにDを使います。

2

- ・スクリーシャフトにスペーサA、スペーサBを取り付ける。
- ・デバッグボードを取り付ける。(スペーサAの切り欠きにはめるようにする)
- ・スペーサAを取り付ける。
- ・CPUボードを取り付ける。(スペーサAの切り欠きにはめるようにする)

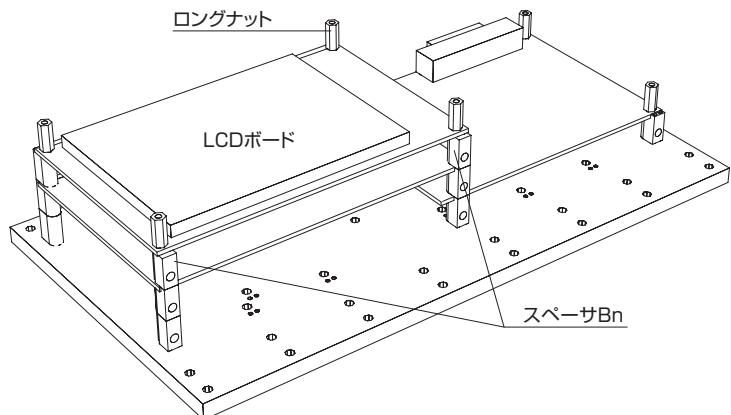
※ LCDボード、FPCケーブルの取扱いに十分に注意します。
※ デバッグボードが付属しない開発キットやその他の拡張ボードを利用する場合は、ボードにあわせてスクリーシャフトを調整して取り付けてください。
※ T-Engine/VR5500, VR5701, TX4956開発キットではデバッグボードの代わりにコネクタボードを取り付けます。



基板を切り欠きにはめる

3

- ・スペーサBnを取り付ける。
- ・LCDボードを取り付ける。
- ・ロングナットでボードを固定する。



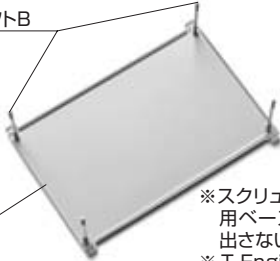
組立手順2:携帯用カバーを取り付ける

T-Engine/SH7727開発キット(CPUボード、LCDボード)を例に携帯用カバーへの取り付け方を説明します。

- ※ 携帯用カバーに取り付け可能なボードは、標準T-Engine仕様準拠のCPUボード(T-Engine/SH7727など)と、四角の同じ位置に穴があるボードになります。
μT-Engine仕様準拠のCPUボードは取り付けることが出来ませんのでご注意ください。
- ※ 取り付けるボードの数により、スクリーシャフトの種類(長さ)を調整してください。

- 1** 携帯用ベースの所定の位置にスクリーシャフトBをねじ込みます。

スクリーシャフトB

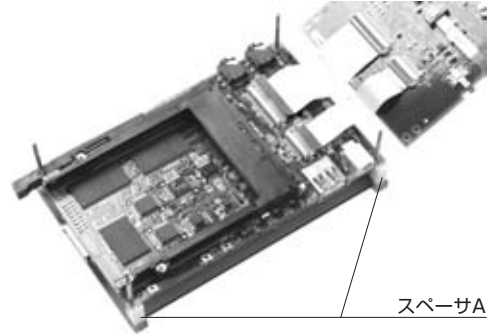


携帯用ベース

※特に上下の区別はありません。

- ※スクリーシャフトは携帯用ベースの下面から突き出さないようにします。
- ※T-Engine/VR5500開発キットではヒートシンクの干渉を避けるためスクリーシャフトBの代わりにCを使います。

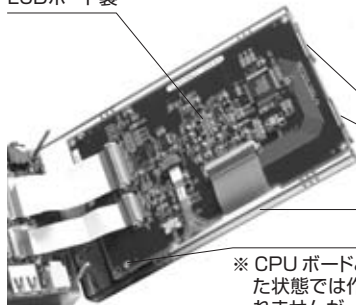
- 2** ・スクリーシャフトにスペーサAを取り付ける。
・スクリーシャフトにCPUボードを取り付ける。
(スペーサAの切り欠きにはめるようにする)



スペーサA

- 3** ・LCDボードにセンターボタンをはめ込む。
・フロントベゼルからM2ネジ短2本を取り外し、それを使ってLCDボードにフロントベゼルを固定する。

LCDボード裏



SW1にセンターボタンをはめ込む

爪にボードをひっかける

フロントベゼル

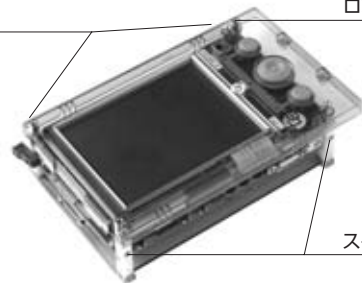
M2ネジ短

- ※CPUボードとLCDボードを接続した状態では作業がやりにくいかもしれませんが、LCDボードをしっかりと保持してから作業を進めてください。

- 4** ・CPUボードで各種スイッチが並んでいる方のスクリーシャフトはスペーサーBnを、反対側のスクリーシャフトにはスペーサーBを取り付ける。
・スクリーシャフトにLCDボードを取り付ける。
・スクリーシャフトにロングナットをねじ込みボードを固定する。

スペーサB

ロングナット



スペーサBn

- 5** ・スペーサBnにM2ネジ短でサイドパネルを固定する。

サイドパネル



M2ネジ短

- 6** ・電池ケース蓋をM2ネジ短で電池ケースに固定する。
・電池ケースをフロントベゼルにM2ネジ長で固定する。

M2ネジ長

- ※ストラップを通すための穴が外側に出るようにする。

